



コミュニティ・スクール通信

光市立三井小学校 CS 推進協議会

- 第 1 号 -

～ 平成 26 年度からコミュニティ・スクールが始まります! ～

平成 26 年度から、光市全ての小学校がコミュニティ・スクールが始まります。

コミュニティ・スクールとは、保護者や地域のみなさんから選出された委員で構成される学校運営協議会が、学校運営の基本方針を承認したり、学校教育活動などについて意見を出したりします。つまり、地域に開かれ、地域に支えられる学校づくりの実現をめざします。これにより、みなさんの声が学校運営に直接反映され、学校・保護者・地域・教育委員会が一体となって、三井小学校の子どもたちを育てていくことができます。詳しくは、裏面の文部科学省のリーフレットの抜粋を参照してください。

本校では、今年度からコミュニティ・スクール推進委員会を立ち上げ、次のような取組を行い、コミュニティ・スクールの実施に向け準備を行います。

～ 平成 24 年度 コミュニティ・スクール推進委員会 ～

平成 24 年度コミュニティ・スクール推進委員

会長：田中 功

No	職名等	名 前	No	職名等	名 前
1	悠々クラブ会長	田中 功	8	PTA 副会長	姫野 悟
2	福祉協議会副会長	松本 年正	9	PTA 副会長	中原 真司
3	今殿チョボラ主宰	前上 喜代子	10	島田中学校教頭	中村 浩
4	三島公民館理事	清永 宗郎	11	校長	池田 昌士
5	民生委員	杉村 洋子	12	教頭	山本 隆巳
6	PTA 会長	益田 圭一	13	教務主任	佐藤 悦郎
7	PTA 副会長	青木 博志	14	CS 担当	荒木 裕二

◇ ねらい ◇

学校、家庭、地域が連携を図りながら、子どもたちを取り巻く様々な問題について考え、子どもたちの健全育成に寄与する。

◇ 内 容 ◇

- (1) 校長が作成する学校経営案について承認する。
- (2) 学校経営案の実現に向けた保護者、地域住民等の学校運営、及び学校教育活動の参画・支援の在り方について協議する。
- (3) 学校の自己評価を受け、学校関係者評価を行う。

◇ 方 法 ◇

- ・ コミュニティ・スクール推進委員会を年 4 回開催し、学校運営組織の在り方を研修する。
- ・ 学校、家庭、地域が児童にできること、児童が地域にできることを模索し、児童の学ぶ機会を増やす。

◇ 取 組 ◇

第1回 平成24年5月23日(水)

- ①コミュニティ・スクールについての概要説明
- ②コミュニティ・スクール推進委員会会長選出
- ③今年度の予定
- ④次回開催予定



◇第2回コミュニティ・スクール推進委員会の様子

第2回 平成24年7月26日(水)

- ① ミュニティ・スクールについての概要説明
講師：酒井 宏高 様 光市教育委員会 学校教育課 主幹
- ②学校評価について・・・昨年度評価結果の報告、今年度評価項目の確認
- ③研修会について・・・全国コミュニティ・スクール研究大会 in 春日市
- ④コミュニティ・スクール便りについて・・・本紙
- ⑤次回開催予定について・・・第三回 平成24年11月15日(木)
・「三井小学校のよさと課題」「三井小児童の長所と短所」等について意見交流

～ 第1回 全国コミュニティ・スクール研究大会 in 春日市 ～

平成24年8月22日(水)福岡県春日市で第1回全国コミュニティ・スクール研究大会が開催され、推進委員3人が参加しました。

午前中は、7つの会場で分科会が行われました。参加した第6会場でも、2つの分科会が行われました。第1部では、『学校と家庭の「響育」が実る日の出小学校の取組』として、学力向上に向けて、サマースクールや朝学習、家庭学習に学校、家庭、地域が協力して取り組んだ実践、第2部では、『学校支援ボランティア事業を活用した地域に開かれた学校づくり』として、算数科の授業をはじめとした様々な学校教育活動に、地域の方が活躍する学校支援ボランティアの活動が紹介されました。また、午後からは、アフラック最高顧問の大竹美喜氏の講演があり、教育の在り方について大変貴重なお話を聞くことができました。



◇開会行事の様子(上)



◇分科会の様子(右上)



◇大竹美喜氏の講演の様子(右下)